

# 平成24年度 宇都宮市立上戸祭小学校 学校評価書

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

**基本目標：心身ともに健康で日本及び国際社会に貢献できる人間の基礎的な資質を養う。**

＝ 心身ともに健康でたくましく，創造力と実践力に満ちた，心豊かな児童の育成 ＝

自分や他人を大切にする子ども

進んで学ぶ子ども

たくましく生きる子ども

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

＝ 合言葉：「学ぼう 遊ぼう 友だちと」 ＝

○人間尊重の精神を基盤としたあらゆる教育活動を通して，学校教育目標に掲げた児童の育成を図る。

○児童が社会の中で自分の能力を発揮し，自己実現できるようになるために，「できなかったことができる，分からなかったことが分かる」ように，児童と教師と学校の power up を図る。

## 3 学校経営の方針（中期的視点）

- (1) 児童の power up のために，個に応じた指導を充実させ，保護者と連携して家庭学習の習慣化を図るとともに，社会性の育成を推進する。
- (2) 児童の power up を支える教師の power up のために，校内研修を計画的・継続的に実施し，授業力の向上を図る。
- (3) 教師の power up を支える学校の power up のために，地域や保護者への情報提供と地域の教育力を生かした取組の推進を図る。

## 4 今年度の重点目標（短期的視点）※地域学校園内で共通する目標は，文頭に○印

### 〔学校運営〕

- ・ 児童が夢と希望をもって学校生活を送れる，保護者と地域に信頼される学校づくり

### 〔学習指導〕

- ・ 自分の考えや思いを豊かに表現し，互いの意見を伝え合い学び合う児童の育成
- ・ 互いの意見を生かし主体的に活動する学級集団づくり

### 〔道徳教育（児童生徒指導）〕

- あいさつと言葉遣いを重点とした，望ましい生活習慣と正しい判断力の育成
- ・ 互いのよさを認め合い，他人を思いやることのできる児童の育成

### 〔健康（保健安全・食育）・体力〕

- ・ 友だちと豊かに関わりながら進んで運動に取り組み，健康・体力の向上に励む児童の育成
- ・ 体育の授業や行事等の工夫による，運動の日常化



A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。

【数値指標】

全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」  
⇒全体の肯定的回答80%以上

① 「かみとよい子のやくそく」を確認したり、児童の実態に応じて毎月の生活目標を設定したりして、集団生活の中できまりを守っていこうとする態度の育成を図ります。

② 登下校時や上戸タイム、朝の会や帰りの会など、さまざまな場で児童の規範意識を高める指導をしていきます。

③ 地域や中学校等と連携して、あいさつ運動を展開します。

B 【達成状況】

全体の肯定的回答 91.2%

教職員の肯定的回答 93.7%  
保護者の肯定的回答 92.5%  
地域住民の肯定的回答 100%  
児童の肯定的回答 78.5%

B ・休み時間の生活のきまりに関しては、規範意識の低い様子が時々見られたため、状況に応じて、校舎内での歩行や校庭での遊び方等について各学級において指導の充実を図ってきた。

A ・地域学校園内の中学校と連携してのあいさつ運動を1回実施することができた。

【次年度の方針】

・「かみとよい子のやくそく」に基づき、児童の実態から指導すべきポイントを絞り込み、月ごとの生活目標に反映させていく。  
・児童の肯定的回答を高めるため、児童会と連携し、児童が中心となって呼びかけ運動をするなど、児童の意識の徹底を図る。  
・地域学校園内の中学校との連携によるあいさつ運動を、さらに活発に展開していきたい。

A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。

【数値指標】

全体アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」  
⇒児童、保護者の肯定的回答80%以上

① 漢字、計算、音読などを発達段階に応じて取り入れ、基礎・基本の定着を図ります。

② 分かる授業のための教材研究に努め、学び合いを重視した授業を展開します。

③ 算数におけるティームティーチングの実施や、かがやきルームにおける個別指導の充実などにより、児童一人一人に応じたきめ細かな指導に努めます。

B 【達成状況】

児童の肯定的回答 91.3%

保護者の肯定的回答 84.4%

B ・宿題・自主学習・小テストなどを通して、児童の基礎基本の定着を図った。朝のはげみ学習の時間を有効に使って、漢字・計算練習に取り組ませることができた。

B ・「自分の考えを持ち、それを豊かに表現することができる児童の育成」をテーマにした算数の授業研究会を通して、教材開発・発問の工夫・学習形態の工夫について、全校体制で研究を進めることができた。

B ・ティームティーチングの実施により、算数の授業の中で、理解が十分でない児童に個別に対応することができた。また、かがやきルームにおいて、個別指導の充実を図ることができた。

【次年度の方針】

・学校課題である算数科の授業を通して、引き続き教材研究・授業研究を進め、互いの学びをより深め合える授業の実践を目指すとともに、より効果的できめ細かな指導に結びつくTTの有効な活用について検討していく。

<p>A5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 ⇒教職員の肯定的回答80%以上 全体アンケートの「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 授業を計画に沿って適切に実施し、「ザ・チャレンジ」「修学旅行」「冒険活動教室」などの学校行事を子どもの主体性を大切に実施します。</p> <p>② 学校行事や教育活動についての反省をもとに今後の方針を検討するなどして、教育活動の工夫・改善を図ります。</p>	<p>B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 100% 児童の肯定的回答 90.9% ・行事が集中してしまった時期もあったが、予定された学校行事や教育活動は、適切に実施することができた。 ・各種学校行事における児童会活動や学級活動をとおして、児童の主体的な取組を進めてきた。 ・状況に応じて、日程や内容の検討・改善を図り、行事終了後に行事の反省を実施し、改善点を次回に生かすようにした。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の反省をもとに日程や内容の再検討を加えるとともに、児童の主体的な活躍・活動の場をさらに効果的に取り入れるようにしていく。次年度はザ・チャレンジ（運動会）を春に、修学旅行を秋に実施する予定である。</p>
<p>A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学校自由参観や児童会の活動、各学年で行う出前授業、文化的行事など、様々な機会を捉えて保護者の参加を促し、学校を保護者や地域に公開します。</p> <p>② 学校だよりの地区回覧、学年だよりのたよりの配付を行い、学校の取り組みや児童の姿を、分かりやすく紹介します。</p>	<p>B 【達成状況】 保護者の肯定的回答 98.1% 地域住民の肯定的回答 100% ・学校公開実施6回に加え、保護者や地域住民を招待したり参加を促したりする行事を多く取り入れてきた。 ・定期的な学校だよりの発行と地区回覧により、学校の取組や児童の姿を積極的に発信することができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・十分な学校公開の機会の設定、学校の様子の発信を継続して進めていく。</p>
<p>A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 保護者や地域の各種団体、企業等の協力を得て、児童が人と関わりながら体験的に学ぶ機会を充実させます。</p> <p>② 地域コーディネーターと連携し、地域の人材を積極的に活用して、教育活動を充実させます。</p> <p>③ 児童の安全を守るために、PTAや地域ボランティアと協力して、朝の登校指導や集団下校指導・「子ども110番の家」や通学路における危険箇所の確認を実施します。</p>	<p>B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 95.8% 地域住民の肯定的回答 100% ・総合的な学習の時間等で、各学年に応じて学習のアドバイスをもらうためにボランティアを活用したり、県内のスポーツチームと交流を行うことによって体験的に学ぶ機会を得ることができた。 ・教科においてだけでなく、各種ボランティアの活用を積極的に進めてきた。 ・今年度、保護者と協力して引き渡し訓練を実施することができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・より効果的な学習活動・学校環境の向上に向けて、ボランティアと綿密な打ち合わせを行う。 ・1年生にとっては、早い時期に「子ども110番の家」や通学路における危険箇所の確認を行うことが望ましいため、次年度は実施時期を早め、6月に行う予定である。 ・引き渡し訓練を来年度も実施する。引き取りに誰が来られるか等、事前の確認を十分にを行う。</p>

	<p>A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃がしっかり行われ、学習しやすく潤いのある環境である」⇒全体の肯定的回答80%以上</p> <p>B1 地域協議会を核として、児童が様々な体験ができる温かい学校づくりを進めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「地域・家庭・学校が連携して、教育活動の充実発展に努めている」⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答80%以上</p> <p>全体アンケートの「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 清掃用具の使い方や清掃の仕方についての指導に加えて、全校クリーン活動や清掃強化週間の実施などで、自分たちの学校を自分たちできれいにしようとする意識を高めていきます。</p> <p>② 潤いのある環境づくりのため、地域ボランティアの協力を得て、普段の清掃だけでは十分に手が回らない場所の清掃活動、花壇整備、校内掲示の充実に努めます。</p> <p>① 地域コーディネーターと連携を図り、地域の人材やボランティアの協力を得て、豊かな体験活動を展開します。</p> <p>② 地域・家庭・学校が連携して、「全校クリーン活動」「ふれあい給食会」「感謝の集い」を実施し、地域を愛する心を育てます。</p> <p>③ 宮っ子ステーション「かみタマ」との連携を図り、児童の放課後や長期休業中の多様な体験活動、居場所づくりに努めます。</p>	<p>【達成状況】 全体の肯定的回答 90.2%</p> <p>教職員の肯定的回答 90.6%</p> <p>保護者の肯定的回答 95.3%</p> <p>地域住民の肯定的回答 90.9%</p> <p>児童の肯定的回答 83.8%</p> <p>・美化委員会の児童や清掃班班長への清掃指導をすることで児童の美化意識が高まった。</p> <p>・清掃、花壇整備、壁面装飾などのさまざまなボランティアの協力を得て、校内環境が充実した。</p> <p>【次年度の方針】 ・長期休業前の清掃強化週間や美化委員会による清掃目標を活用し、自分たちの手で気持ちの良い環境づくりをしようとする意欲付けを図っていく。</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 100%</p> <p>保護者の肯定的回答 95.8%</p> <p>地域住民の肯定的回答 100%</p> <p>児童の肯定的回答 87.3%</p> <p>・様々な活動において、ボランティアの活用を図り、地域・保護者との連携によるさまざまな体験的活動が実施できた。</p> <p>・放課後子ども教室「かみタマ」の活動もさらに充実度を増してきている。</p> <p>【次年度の方針】 ・ボランティアとの綿密な打合せのもと、児童にとってより効果的な体験的活動を幅広く実施できるよう、継続して取り組んでいく。</p>
<p>教育活動の状況</p> <p>生</p> <p>活</p>	<p>OA9 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒全体の肯定的回答率80%以上</p>	<p>○① 児童会を中心にあいさつ運動を実施したり、地域の方やPTAと連携した取り組みを実施したりして、学校内・外での元気なあいさつの習慣化を図ります。</p> <p>② 教職員が率先して、明るいあいさつに努めます。</p>	<p>【達成状況】 全体の肯定的回答 85.6%</p> <p>教職員の肯定的回答 87.5%</p> <p>保護者の肯定的回答 81.9%</p> <p>地域住民の肯定的回答 81.8%</p> <p>児童の肯定的回答 91.3%</p> <p>・マナーアップ委員会によるあいさつ運動や教室での指導が定着してきており、あいさつが少しずつ習慣化されつつある。</p> <p>・教職員自ら明るいあいさつの率先垂範に努めた結果、学校の印象がよくなったという意見が複数の保護者から寄せられた。</p> <p>【次年度の方針】 ・児童会の活動を中心に、引き続き気持ちの良いあいさつの励行に取り組んでいく。</p> <p>・地域学校園内の中学校との連携によるあいさつ運動を、さらに活発に展開していきたい。</p>

<p>OA10 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、大人に対して適切な言葉遣いをしている」 ⇒全体の肯定的回答率80%以上</p> <p>B2 友達と仲良く生活し、楽しい学校生活を送っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きです」⇒児童の肯定的回答80%以上 全体アンケートの「学校全体に活気があり、明るいきいきとした雰囲気である」⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>○① 時・場・相手に応じた適切な言葉遣いについて粘り強く指導に努めるとともに、家庭や地域での指導の協力について働きかけていきます。</p> <p>② 友達を「さん」付けて呼ぶなど、相手を思いやる言葉遣いの習慣化を図ります。</p> <p>① 縦割り班の活動を充実させ、異学年の交流を図ります。</p> <p>② 児童についての情報交換や教育相談、いじめアンケート（年間4回実施）、Q-U検査の結果の分析活用などにより、児童一人一人に目を向けた指導に努めます。</p>	<p>【達成状況】 全体の肯定的回答 74.8%</p> <p>教職員の肯定的回答 81.2%</p> <p>保護者の肯定的回答 75.9%</p> <p>地域住民の肯定的回答 63.6%</p> <p>児童の肯定的回答 78.6%</p> <p>・教師に対する言葉遣いの意識は高くなってきているが、保護者や地域住民の肯定的回答はまだ低いことから、今後も時・場・相手に応じた適切な言葉遣いについて、家庭や地域にも協力を呼びかけていく。</p> <p>【次年度の方針】 ・日常生活や学習の場に応じて、相手を気遣いながら名前を呼んだり、会話をしたりするなど、思いやりのある心の育成を図っていく。</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答 92.3%</p> <p>保護者の肯定的回答 96.7%</p> <p>・縦割り班活動で交流を図ることをとおして、児童の自主性を育てることができた。</p> <p>・職員会議後に児童に関する情報交換を行ったり、いじめアンケートやQ-U検査の結果から児童の悩み・学級集団の特徴や傾向を把握したりすることをとおして、児童理解が深められた。</p> <p>【次年度の方針】 ・児童についての情報交換や教育相談、いじめアンケート（年間4回実施）、Q-U検査の結果の分析活用などにより、児童一人一人に目を向けた指導を継続して行っていく。</p> <p>・一人一人の児童が居がい感をもって学校生活を送ることができるよう、教員が積極的に児童のよさを見つけ、ほめたり言葉掛けを行ったりすることに努めるとともに、悩みを持つ児童が教師に気軽に話ができる体制づくりに心掛けていく。</p>
<p>健康・体力</p> <p>OA11 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」 ⇒児童の肯定的回答率80%以上</p>	<p>① 食育だよりを毎月発行したり、親子ふれあい給食会や給食試食会を実施したりして、食の大切さについて啓発を行います。</p> <p>○② 食への関心を高め、感謝の気持ちを育むため、地域学校園で連携して共通の献立やお弁当の日を実施します。</p> <p>③ 教科における「食に関する指導」や給食時の栄養指導等を実施するとともに、各種たよりで取組の様子を伝えていきます。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 73.8%</p> <p>・食育だよりや教科における「食に関する指導」、お弁当の日の取組みなどをとおして、児童・保護者に食の大切さについての啓発を行ってきた。</p> <p>・地域学校園で連携した共通献立2回実施。</p> <p>【次年度の方針】 ・教科における「食に関する指導」については学校栄養士と連携して実施する。</p> <p>・各種たよりで継続的に啓発する。</p> <p>・給食委員会の活動などで、調理員さんの苦労や思いなどを児童全体に啓発し、感謝の気持ちの醸成を図る。</p>

<p>A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒ 児童の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 「元気っ子健康体力チェック」の結果を踏まえ、体育の授業において、握力、長座体前屈、立ち幅跳び、ソフトボール投げの能力を高めるための補強運動を行います。</p> <p>② 夏休み特別水泳教室の実施に加えて、持久走がんばりカード、縄跳び・水泳検定カードを活用し、児童が目当てをもって運動に取り組めるようにします。</p> <p>③ 竹馬、一輪車、縄跳びジャンピングボード等を有効に活用し、児童が楽しんで運動に取り組めるようにします。</p> <p>④ 毎週水曜日にロング昼休みを設定し、外遊びを奨励したり、児童会主催のスポーツ大会を開催したりします。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 89.2%</p> <p>・元気っ子健康体力チェックの結果をふまえて体育の準備運動や補強運動を工夫し、苦手としている運動能力の補強に努めることができた。また、上戸タイムなどにおける外遊びの奨励やロング昼休みの共遊活動を通して、外で遊ぶ児童が増えた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・①については、引き続き体育の授業に補強運動を継続して行い、基本的な動きや筋力を高めていく。</p> <p>・②については、引き続き各種検定カードを活用し、児童がめあてを持って運動に取り組めるようにする。</p> <p>・③については、児童会を中心に竹馬および一輪車の貸し出しを行うとともに、校庭にジャンピングボードを多数設置し、運動の日常化に努める。</p> <p>・④については、児童会主催のボール投げ大会や鉄棒を使用したダンゴ虫大会を実施し、児童の関心を高めるとともに体力の向上を図っていく。</p>
<p>B3 安全と健康管理に気をつけ、元気に生活している。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート「私は、安全と健康に気をつけて生活している」 ⇒ 児童の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 健康診断後に治療依頼の連絡をしたり、保健だよりを発行したりして、健康な生活習慣育成のための情報を提供します。</p> <p>② 肥満傾向児童に対して、養護教諭と学校栄養職員が健康栄養相談を継続して実施し、家庭と連携して健康な生活習慣の育成を図っていきます。</p> <p>③ 自分の命を自分で守ろうとする意識を高めるため、学年に応じた安全指導を行い、不審者対策や交通安全指導を定期的に行います。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 90.1%</p> <p>・教職員の肯定的回答は81.2%で他の項目の達成率より低い。</p> <p>・「登下校中や下校後に、交通ルールを守れていない児童がいる」という声が数件寄せられたこともあり、校内・外での安全な生活については、さらに指導を継続する必要がある。</p> <p>・肥満傾向児童への健康栄養相談については、年間で5回実施することができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・安全教育については、教科の保健学習や日常の保健指導をとおして、具体的な例を示しながら、繰り返し指導し、自分の命は自分で守ろうとする意識を高めていく。</p> <p>・肥満傾向児童や食物アレルギー対応の児童に対する健康栄養相談をさらに充実させ、食事と運動のバランスや食べられない食品について自分で判断できるよう家庭と連携していく。</p> <p>・本校はう歯の処置率が高いが、う歯のない児童は少ない実態があり、給食後の歯みがきを全学年で実施する方向で検討したい。</p>

	<p>A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 発達段階に応じて、「発表の仕方」や「話の聞き方」のポイントを示し、授業で学び合いの活動を効果的に取入れて授業を行います。</p> <p>② 自分の考えをまとめて書いたり、落ち着いて話を聞いて友だちの考えを書いたりできる力を育てます。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 85.2% 教職員の肯定的回答 96.8% 保護者の肯定的回答 86.2%</p> <p>・低学年の児童も学習の決まりを守って取り組めるようになり、中学年以上では自分の意見を発表するときに理由づけもできるようになってきた。</p> <p>・朝の会や学級活動でのスピーチの実践をとおして、自分の考えをまとめて話す力が育ってきている。</p> <p>【次年度の方針】 ・発表の仕方や話の聞き方、ノートの手入れ、文章の書き方など基本的な学習技能を学年に応じて身に付けさせ、各教科における言語活動をさらに充実させていく。</p> <p>・授業では課題や発問を工夫し、多様な考えを引き出し、話し合いの活性化を図る。</p>
学 習	<p>A14 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 話をきちんと聞く態度を身に付けさせるため、授業や行事などの集会活動において、日常的に聞き方の指導を行います。</p> <p>② 児童が安心して自分の考えを持ち、発表し、友だちの考えや気持ちを尊重できるよう、授業の中で話し合い活動を積極的に設定します。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 82.1%</p> <p>・朝会や集会時に、正しい姿勢で最後まで集中して聞くことができるようになってきた。</p> <p>・授業の中に、ペア学習・グループ学習・全体での話し合い活動を効果的に取り入れ、考える場や練り合いの場を意図的に設定するなど、指導方法を工夫してきた結果、意見交換がスムーズに行えるようになってきた。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、活動の目的に応じて学習形態を工夫しながら、積極的な話し合い活動の充実を図っていく。</p>
	<p>B4 家庭と協力して、家庭学習の習慣化を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は児童のよいところを認め、教えるべきことを熱心に指導している。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 家庭学習の手引きに基づき、学年に応じて家庭学習の内容と方法について具体的に示して指導するとともに、保護者の理解・協力を得て、家庭学習の習慣化を図ります。</p> <p>② 児童の提出した家庭学習の課題やノートをよく目を通し、認め励ますことで意欲づけを図ります。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 93.7% 保護者の肯定的回答 90.4%</p> <p>・家庭学習の手引きを配付し、具体的に家庭学習の内容や方法について示しながらの実践も3年目となった。低学年では、保護者の協力を得て、比較的良好に家庭学習ができているが、高学年では、家庭学習に対する取組方で個人差が大きくなってきている。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、本校としての家庭学習の手引を3年生以上に配付し、各自が計画を立てて家庭学習に取り組めるよう支援していく。児童の家庭学習への取り組み状況や頑張りを認め、励ますことでさらに意欲付けを図っていく。</p>

本校の特色・課題等	B6 栄養士と調理員が連携して、おいしい給食を供給し、食育の充実に取り組んでいる。  【数値指標】 上戸オリジナルメニューの実施回数 12 回以上	① 地域の協力により、旬の食材を活用し、季節感のあるおいしい給食を提供します。  ② 調理員や地域学校園の栄養士と連携し、魅力ある給食を提供することに努めます。	B B	【達成状況】 上戸オリジナルメニューの実施 12回  【次年度の方針】 ・安全・安心・おいしい給食を引き続き提供する。 ・食物アレルギーの対応については、保護者との面談を十分に行い、栄養士・担任・養護教諭・調理員の連絡を密にし、事故のないように努める。
	B7 読書活動の充実に取り組んでいる。  【数値指標】 学校独自アンケート「児童は、本をよく読んでいる」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答80%以上	① 朝の読書の時間や地域ボランティアによる読み聞かせ活動の充実を図り、読書活動を推進します。  ② がんばる学校プロジェクトでの「ファミリーブック」の実践等を通して、家庭読書の充実を図ります。	B B	【達成状況】 児童の肯定的回答 81.1% 教職員の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 80.1%  ・朝の図書の貸し出し、ファミリーブックの実施、読み聞かせボランティアの活用などを通して、児童の読書量が増えてきている。  【次年度の方針】 ・家庭の理解と協力を呼びかけながら、今年度の効果的な取組を継続し、さらに読書の有用性や楽しさを味わえるよう配慮して、読書指導の充実を図っていく。

### 〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

#### ＜ 学校運営面 ＞

- ①各種たよりやホームページにより教育活動について情報を発信したり、学校公開を定期的で開催したりすることにより、開かれた学校づくりを推進することができた。
- ②学校支援ボランティアやPTA、及び地域（協議会、各種団体、地域住民）の全面的な支援・協力により、「地域の学校づくり」の推進と教育活動の充実が図られた。

#### ＜ 児童指導面 ＞

- ①児童と触れ合う時間の確保やQ-U検査の分析、アンケートの実施、教育相談等をとおして、問題行動の早期発見・早期対応に努めてきたが、一人一人の児童の理解と十分な実態把握に努め、さらに積極的・組織的な児童指導の充実を図っていく。
- ②教職員からの明るいあいさつ、児童への言葉掛け、保護者への丁寧な対応を合言葉に実践に努めてきた。学校でのあいさつや教師への言葉遣いについては、おおむね好ましい状況になってきているが、保護者や地域の方へのあいさつや学校外での地域の方への言葉遣いについては、まだ十分ではなく、今後も保護者や地域と連携し、継続的に取り組んでいきたい。
- ③学校生活のきまりや交通ルール、マナーについては昨年度より5ポイント以上の向上が見られたが、まだ不十分な面もあるので、さらに意識を高めていけるよう継続して指導に当たっていききたい。

#### ＜ 体力・健康面 ＞

- ①休み時間や放課後に進んで運動をしたり、健康に気を付けていると答える児童の割合は高くなっているが、肥満傾向にある児童については、自ら食事の量と運動のバランスを考えて生活できるよう、健康栄養相談などで働きかけを行ってきた。
- ②安全でおいしい給食の提供と食育の取組の推進に努めてきた。食物アレルギーへの対応を丁寧に行いながら、より多くの児童が好き嫌いなく給食を食べられるよう、食に関する指導や食の大切さについての啓発を進めていく。

#### ＜ 学習面 ＞

- ①今年度の学校課題である算数の授業の研究をとおして、思考を促す課題提示やより活発な学び合いのあり方について、全職員で理解を深めることができた。さらに各教科においても思考力・表現力の向上を目指して、教材の開発・発問や学習形態の工夫に努めていきたい。
- ②授業の中に自分の考えを伝え合い、練り合う場を効果的に取り入れ、継続してきたことにより、話し合い活動がスムーズに行えるようになってきた。

## 6 学校関係者評価

- ◇学校・家庭・地域の連携・協力によって、学校の教育活動が充実していることが数値から読み取ることができる。
- ◇地域住民の肯定的回答の割合は、100%となっているものが多い。これは、学校だよりその他による情報発信がうまく行われ、地域と連携した取組の充実が地域にも浸透していることの成果の表れと考えられる。
- ◇市全体の肯定的回答の割合と比較して、ほとんどの項目で上戸祭小の割合が上回っているが、児童の肯定的回答率については、わずかずつではあるが低い傾向にある項目が多い。教職員、保護者、地域住民からの評価は高いのに、まだ自信を持ってないでいる児童の姿が見て取れる。児童が「上戸祭地区に住んでよかった」、「上戸祭小に通えてよかった」と感じられるイベントや取組を工夫するなどして、自己肯定感を高めていく手立てを来年度からぜひ進めてほしい。
- ◇「給食の好き嫌い」「あいさつ」「言葉づかい」については、保護者の肯定的回答が少し低い数値になっている。本来学校評価アンケートは学校全体を見通して評価するものであるが、自分の子どもを通して評価するとなると、どうしても辛くなりがちになるのではないかと。「あいさつ」「言葉づかい」は、少しずつ改善されてきているが、今後も、「家庭での小さいころからのしつけ」、「学校での指導」、「地域の大人との積極的な関わり」の3方向からの連携を強化していくことが大切であろう。
- ◇「きまり」「あいさつ」「言葉づかい」については、児童自身も厳しくとらえている。児童が、自分たちの課題として意識し、よりよい状況にするために何か行動を起こし、達成感を味わえるような取組を考えてほしい。また、これらの点については、大人（教職員・保護者）の言葉づかいやあいさつ、マナー、人との接し方が子どもたちに影響を与えるので、子どもの手本となるように、大人も襟を正して生活をしていくことが大切である。
- ◇食物アレルギーへの対応については、突然発症する場合もあるので、アナフィラキシーショックや応急手当について、教職員は研修などで理解しておく必要がある。
- ◇いろいろな場面で生命尊重、人権尊重の大切さを繰り返し指導していくことが必要だ。乱暴な言葉づかいについては、やがて「いじめ」につながるとの意識を持って、その場で指導していくことが大切だ。学校評価アンケートの宇都宮市全体の共通質問の中に、いじめや体罰など、今問題になっていることについても項目に加えて、各学校のマイナス面をオープンにしていくことが今後必要となってくるのではないかと。

## 7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- ◇今年度も、学校教育活動のねらいや内容について家庭・地域に向けて情報発信を十分行うことに心掛け、三者の連携・協力による取組の充実にも努めてきた。その結果、学校評価全体について、大変好意的、建設的なご意見・ご提言をいただくことができた。それらを真摯に受け止め、次年度以降の学校改善に生かしていく。
- ◇「あいさつ」については、今年度の重点課題として取り組んできたことにより改善されつつあるが、まだ個人差があるので、家庭、地域、及び地域学校園内の中学校との連携・協力により、次年度も引き続き取り組んでいく。
- ◇「言葉づかい」については、相手への思いや接し方に直結することから、言語環境を整え、授業中を始め様々な機会をとらえて日常的に指導を行うことにより、相手や場に応じた、適切で思いやりのある言葉づかいができる児童の育成に努めていく。
- ◇登下校の交通安全や学校内の生活安全については、児童自身が自分の命は自分で守るという意識を持ち、きまりを守り落ち着いた生活ができるよう、より具体的な指導の手立てを工夫したり、家庭や地域にも呼びかけたりするなど連携して取り組んでいく。
- ◇児童の実態や本校の現状についての共通理解を図り、解決すべき課題を明確にすることにより、引き続き指導方法の工夫・改善に努め、指導力の向上に取り組んでいく。